

社団法人 国際社会福祉協議会日本国委員会

平成 19 年度事業報告

1. ICSW 本部、その他各国委員会との連携強化

(1) 国際社会福祉協議会会費の納入

(単位：米ドル)

暦年	A 国際社協本部 会費収入	B = C + D 日本国分担金 納入合計	C 国庫負担金	D 本会納入額
2002 (H14)	102,195.00 (2003年5月16日現在)	20,000.00 (B/A=19.6%)	12,600.00	7,400.00
2003 (H15)	104,305.00 (2004年4月14日現在)	19,900.00 (B/A=19.1%)	12,500.00	7,400.00
2004 (H16)	93,564.00 (2005年2月28日現在)	20,000.00 (B/A=21.4%)	12,600.00	7,400.00
2005 (H17)	93,256.00 (2006年3月31日現在)	20,000.00 (B/A=21.4%)	12,190.00	7,810.00
2006 (H18)	88,006.00 (2007年3月31日現在)	16,520.00 (B/A=18.8%)	9,835.00	6,685.00
2007 (H19)	104,452.00 (2008年3月31日現在)	16,520.00 (B/A=15.8%)	8,260.00	8,260.00

(2) ドイツ公私福祉連盟と ICSW についての意見交換

2007年9月4日～8日、本会松寿常務理事と多々良理事がドイツ公私福祉連盟の主催する国際問題委員会に参加し、欧州の社会福祉の動向や ICSW の今後の方向性等について意見交換をおこなった。

2. 2007 年度 ICSW 北東アジア地域会議への参加

2007年10月22日から24日、「北東アジア地域における文化的多様性についての問題と課題」というテーマで韓国の釜山において ICSW 北東アジア地域会議が開催され、日本、韓国、台湾、香港の民間社会福祉関係者等が集り、国際結婚の問題や移民労働者の状況など各国の現状について報告するとともに、意見交換を深めた。日本からは、本会議に12名が参加した。

3. 国内外への社会福祉情報の提供

(1) 「2007年度 ICSW 北東アジア地域会議報告書」の作成

2007年 ICSW 北東アジア地域会議での参加各国(日本、韓国、台湾、香港)より発表された国際結婚に関する課題や移民労働者問題等の8つのテーマ等を整理し、報告書として取りまとめた。

(2) 北東アジア地域の社会保障制度についての論文収集

北東アジア地域の社会保障制度について台湾の国際社会福祉協会中華民国総会の白理事長に執筆を依頼し、「国民年金法の主な特色、内容及びその挑戦」と題した論文を提出いただいた。(前項の報告書に併載)

(3) 本会ホームページの開設と情報の提供

昨年4月2日よりホームページを開設し、国際社会福祉協議会と日本国委員会の組織等に関する事項や、国際社会福祉協議会が発行しているレポート「ICSW グローバル・コーポレーション」等の最新の情報提供を行った。

(4) 第33回国際社会福祉会議開催に向けての情報の提供

本会のホームページを通して来る2008年6月30日よりフランスのトゥールで開催される第33回国際社会福祉会議の開催に関する進捗情報等の提供をおこない、本会議の参加に向けてPRを行った。

(5) 本会図書「イギリス・ドイツ・オランダの医療・介護分野の外国人労働者の実態」の寄贈

社団法人日本社会福祉教育学校連盟の加盟校(174ヶ所)に本会図書を寄贈し、欧州3か国の外国人労働者の実態についての情報の提供と広報活動を行った。

4. 本会の運営に関する事業

(1) 会議の開催

① 理事会

ア) 第112回：平成19年5月18日

イ) 第113回：平成19年5月18日

ウ) 第114回：平成19年8月20日(文書審議)

エ) 第115回：平成20年3月6日

② 総会

ア) 第82回：平成19年5月18日

イ) 第83回：平成19年9月12日(文書審議)

ウ) 第84回：平成20年3月6日

③ 監事会

ア) 平成19年5月11日